



三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより5月号
令和3年4月28日発行
<http://mikasa.maizuru.ed.jp/>



「自分たちも地域に貢献したい!」という想い

校門に続く坂や共済病院側の斜面のつつじが満開です。カラスノエンドウのさやも、少しずつ膨らんできました。もう少ししたら、子どもたちが笛を作ってピーピーと楽しむことでしょう。



先日、6年生の子どもたちが地域に出かけ、二つのグループに分かれてゴミ拾いをしました。昨年度、総合的な学習の時間に「コロナ防止隊」の活動を展開した子どもたち。今年は、「自分たちも地域に貢献したい!」という想いから、「まずはゴミ拾いをしてみよう。」ということになったようです。

普段何気なく歩いているときには、そんなにゴミが落ちていたとは思わなかったのに、よく見ると、植込みの根本や物陰など、人目に付きにくいところにゴミが捨ててあることに驚いた様子でした。また、たばこの吸い殻が多いところ、紙くずや空き缶以外にも長靴のようなものが捨てられているところなど、場所によってゴミに違いがあることにも気付きました。寺川にもゴミが捨ててあったけれど、人が下りることができない場所で、じれったい思いもしたようです。



活動中、出会った地域の方から「ありがとう。」という声をかけていただいたことも、大変うれしかったようです。

三笠っ子たちは、登下校時や三笠ふれあいフェスティバルなど、様々なところで地域や保護者の皆様に温かく包み込んでいただいているという実感があります。だからこそ、「自分たちにもできることがあるはず。自分たちも地域に貢献したい!」という想いを抱いたのではないのでしょうか。この想いが、「ふるさと舞鶴を愛し夢に向かって将来を切り拓く子ども」という、舞鶴市の教育大綱にある育てたい子ども像につながっていくのだと思うのです。

3度目の緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見えない状況にあります。修学旅行も2学期に延期いたしました。感染症対策を徹底しながら、子どもたちにとって楽しく潤いのある学校生活になるよう、教職員一同気を引き締めてがんばります。引き続き、ご協力をよろしくお願ひいたします。



校長 小島 みどり

読書を楽しみましょう!



三笠小学校では、毎月23日を「読書の日」としています。今年度は、お家の人や寮の先生と一緒に読書を楽しんでほしいと願い、図書館教育部が中心となり、毎月「みかさ図書だより」を発行します。4月号には、「校長先生のおすすめの本」として「チョコレート戦争」を紹介しました。緊急事態宣言下でも、現在のところ市の図書館は開かれています。夢中になって本を読んでいるときの幸福感、読み終わったときの満足感と終わってしまったという何とも言えないさみしさ、ぜひ味わってほしいと思います。